

## 仕事と生活の調和に関する調査【従業員調査】

IDをご入力ください。

ID:

### 注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。

JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

### 推奨ブラウザ

【Windows】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Microsoft Edge 最新版

【MacOS】

Chrome 最新版

Firefox 最新版

Safari 最新版

【Android】

標準ブラウザ（Chrome） 最新版

【iOS】

標準ブラウザ（Safari） 最新版

Chrome 最新版

次へ

-----<改ページ>-----

### [必須]

問1 あなたの性別をお答えください。

1 男性

2 女性

3 その他

-----<改ページ>-----

[必須]

問2 あなたの年齢をお答えください。

1 20歳未満

2 20～24歳

3 25～29歳

4 30～34歳

5 35～39歳

6 40～44歳

7 45～49歳

8 50歳以上

-----<改ページ>-----

[必須]

問3 あなたがお勤めの会社の業種をお答えください。

1 建設業

2 製造業

3 運輸業、郵便業

4 卸売業、小売業

5 金融業、保険業

6 宿泊業、飲食サービス業

7 医療、福祉

8 サービス業（他に分類されないもの）

-----<改ページ>-----

[必須]

問4 あなたがお勤めの会社（事業所）の従業員数をお答えください。

※企業全体ではなく、所属する事業所の従業員数をお答えください。

- 1 30人未満
- 2 30～49人
- 3 50～99人
- 4 100～299人
- 5 300～999人
- 6 1,000人以上

-----<改ページ>-----

[必須]

問5 あなたの雇用形態についてお答えください。

- 1 正規雇用（正社員）
- 2 非正規雇用（パート・アルバイト・派遣等）
- 3 その他  <must>

-----<改ページ>-----

[必須]

問6 あなたの職場環境で、普段感じていることがあればお答えください。（いくつでも選択可）

- 1 通勤時間が長い
- 2 残業が多い
- 3 休暇が取りにくい
- 4 休憩時間が短い
- 5 勤務時間が不規則

6 その他  <must>

7 特になし <ex>

-----<改ページ>-----

[必須]

問7 あなたはご自身の仕事と生活の調和が図られていると感じていますか。

1 非常に感じている

2 やや感じている

3 あまり感じない

4 全く感じない

-----<改ページ>-----

[必須]

問8 あなたは現在の職場において働きながら子育てを行うために、どのような制度が有効だと思いますか。  
(2つまで選択可)

選択個数制限：2個 以下

1 短時間勤務制度（通常の労働時間より短い労働時間を設定できる制度）

2 フレックスタイム制度（一定の範囲内で、都合のよい時間帯を選択して勤務できる制度）

3 在宅勤務制度

4 始業・終業時間の繰上げ・繰下げ（1日の所定労働時間は変更なし）

5 所定外労働の免除

6 事業所内託児施設

7 育児サービス利用等に対する援助

8 子ども看護休暇制度

9 配偶者出産時特別休暇

■ 10 男性の育児休業制度や「共育て※」のための特別休暇

■ 11 育児休業中の経済的支援（雇用保険による育児休業給付金を除く）

■ 12 その他  <must>

■ 13 わからない <ex>

※男性育休の取得促進や育児期を通じた柔軟で多様な働き方を推進することで、仕事と子育てを両立し、夫婦（パートナー）がともに子育てを行うこと

-----<改ページ>-----

[必須]

問9 今後、誰もが働きやすい環境を整備するためには、どのような行政施策があればよいと思いますか。（3つまで選択可）

選択個数制限：3個以下

■ 1 子育てや介護のために退職した従業員の再就職の支援

■ 2 労働時間の短縮やフレックスタイム制など柔軟な働き方ができる勤務形態の導入促進についての普及啓発

■ 3 在宅ワークなど多様な働き方ができる環境整備

■ 4 職業能力開発・職業訓練（リスキリングを含む）や労働相談・情報提供などの充実

■ 5 仕事と家庭を両立しやすい雇用環境整備を行う事業主に対する助成等の充実

■ 6 低年齢児保育、延長保育、一時保育など多様な保育サービスを行う保育所の整備充実

■ 7 学童保育（放課後児童クラブ）の設置推進と活動内容充実

■ 8 育児・介護の援助を行いたい者と受けたい者の相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの設置促進

■ 9 事業所内保育施設などの整備促進と認可外保育施設に対する指導

■ 10 高齢者の介護施設の充実

■ 11 その他  <must>

■ 12 わからない <ex>

-----<改ページ>-----

[必須]

問10 仮に、あなたもしくはパートナー（配偶者）が出産し、育児休業を取得できる状態である場合、育児休業制度を利用したいと思いますか。

- 1 利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

-----<改ページ>-----

【回答者条件】

問10で『2.利用したくない』 いずれかを選択した方のみ

【問10で「利用したくない」を選択した方のみにお聞きます。】

[必須]

問11 育児休業制度を利用したくない理由はどのようなことですか。（2つまで選択可）

選択個数制限：2個 以下

- 1 職場や同僚に負担がかかる
- 2 職場が育児休業を取得できる雰囲気ではなかった
- 3 育休中の能力低下や職場環境の変化への対応等、復帰後職場に対応できるか不安
- 4 元の仕事（職場）に復帰できるとは限らない
- 5 昇進・昇格への影響が心配
- 6 収入の減少
- 7 その他  <must>
- 8 利用する必要がない  
具体的に： <must>

-----<改ページ>-----

【現在の職場に就職後、あなたもしくはパートナー（配偶者）が出産した方のみにお聞きます。】

問12 あなたは育児休業制度を利用しましたか。

1 利用した

2 利用していない

-----<改ページ>-----

**【回答者条件】**

問12で『2.利用していない』 いずれかを選択した方のみ

【問12で「利用していない」を選択した方のみにお聞きします。】

**【必須】**

問13 育児休業制度を利用しなかった理由はどのようなことですか。（2つまで選択可）

選択個数制限：2個 以下

1 職場や同僚に負担がかかる

2 職場が育児休業を取得できる雰囲気ではない

3 育休中の能力低下や職場環境の変化への対応等、復帰後職場に対応できるか不安

4 元の仕事（職場）に復帰できるとは限らない

5 昇進・昇格への影響が心配

6 収入の減少

7 その他  <must>

8 利用する必要がなかった  
具体的に： <must>

9 職場に育児休業制度がなかった

-----<改ページ>-----

**【必須】**

問14 育児休業制度をさらに利用しやすくしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで選択可）

選択個数制限：2個 以下

1 事業主や上司の理解

■ 2 休業中の経済的支援

■ 3 父母一人ずつが取得できる休業期間（母親の産後休業期間を含む）の上限（1年）の延長

■ 4 短時間勤務制度等、職場復帰しやすい体制の整備

■ 5 休業中の情報提供や職場復帰研修の充実

■ 6 代替職員の確保のための援助制度の充実

■ 7 休業後、スムーズに保育所等に入所できる体制の整備

■ 8 育児休業制度についての行政機関等の普及啓発

■ 9 その他  <must>

■ 10 わからない <ex>

-----<改ページ>-----

**問15** ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進、少子化対策について、日頃お考えのことや行政に対する要望等がありましたら自由にお書きください。

1

-----<改ページ>-----

ご協力ありがとうございました。  
これでアンケートは終了です。このページを閉じてください。  
ご回答ありがとうございました。

---